



VOL.152
Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部

発行日 2023年6月1日
発行者 北星学園大学後援会事務局
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
電話 (011) 891-2731
印刷 山藤三陽印刷株式会社



今年は、4年ぶりに新入生が一堂に会した入学式を行いました。授業も対面で行われています。キャンパスでは、以前のように、部活の勧誘が盛んに行われています。

さて、ウクライナの人々は命を失い、故郷を追わっています。多くの子ども達は家族から離され、残酷な扱いを受けています。ロシアに連れて行かれた子どもは、2万人を超えています。また、ロシアの兵士も理不尽な命令に従わざるをえず、その家族共々苦悩しています。両国の不幸は

大学、短期大学部を志望し、見事合格した千余名の新入学生及び編入学生の皆さん、ご入学おめでとうござい

ます。長びくコロナ禍のため

2020年度入学式は中止、2021年度及び2022年度入学式は午前と午後に分け

て実施されました。本年度は従来通り、新入学生、編入学生が一堂に会して入学式が挙行されました。

入学式では、大坊学長から

「大学での学びを通じて幸せな社会を築くために貢献でき

ます。最近になり、ようやく從来

の日常生活、社会生活、経済



「心おきなく」

後援会会長 深澤 秀則

る人間になることを期待します。古川理事長から「個性豊かに、新しい生涯のステージへ進んでください。」との祝辞がありました。また、在学生代表からは「大学生活において、選択肢は多々あるので頑張りましょう。」新入生代表からは「社会の平和を願つて大学生活を送りたい。また、優しさのなかにも厳しさのある指導を先輩の皆様にお願いしたい。」との誓いの言葉がありました。

活動が取り戻されつつあります。新入生の皆さんの大半は高校入学時に世界中に感染が広まつた新型コロナウイルスの影響で、今まで当たり前だった普段の日常生活が大幅に制限され、我慢を強いられました。感染防止を最優先に組み立てられた各種学校行事の中でも、頭に描いていた高校生活と違う現実を体験したことと思います。

しかし今、入学した喜びを感じながら、良き友に出会い、生活を始めることがでています。様々な期待を胸に抱いてください。この社会状況の中で保護者の皆様には、後援会にご入会いただき御礼申し上げます。

後援会として、学生達に「北星学園大学に入学して良かった」と思われる、教育活動援助に誠心誠意努力しますので、御支援、御協力宜しくお願い致します。

写真提供（左右2枚）：写真工房ピクセル・グラフィックス

リテラシーを正しく イングを目指す 磨き、ウェル・ビー

学長 大坊 郁夫

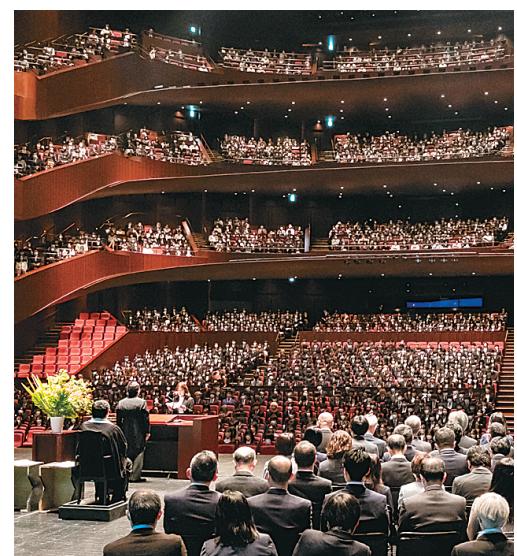
れることなく、本学の学びの中で自らの情報リテラシーを磨き、創造性を蓄えてください。今年度から社会福祉学部はSDGsを踏まえ、時代に応える「社会福祉学科」（福祉計画学科と福祉臨床学科の統合）を設置しました。同時に、福祉心理学科は公認心理師（国家資格）受験につながるカリキュラムを整えた総合的な「心理学科」となりました。さらに、他の学部学科も一層の魅力を増した学部学科として、自らが比較して思案する

よ。他と共にウエル・ビーングであることを目指すのは難しいことではありません。人は社会に含まれ、社会は個人なしにありえません。したがって、個人と社会の両方を共に考慮しなければならない

ります。本学が今後とも持続し、発展するため、後援会の皆様のさらなるご意見をお聴かせください。今後とも益々のお力添えをいただきたく存じます。

これまで、20歳から18歳になるという民法改正があり、新入学生も当然、成人としての責任をさせられます。多方面に亘る情報が氾濫している現代に於いて、正確な情報を身につけ、社会の動きを絶えず把握し、歩んでください。そして大学、短期大学部に入学した目的を忘れずに自己管理を徹底しつつ学生生活を送つてください。

この社会状況の中で保護者の皆様には、後援会にご入会いた頂き御礼申し上げます。後援会として、学生達に「北星学園大学に入学して良かった」と思われる、教育活動援助に誠心誠意努力しますので、御支援、御協力宜しくお願い致します。



4年ぶりに人数制限なく開催した入学式

2023年度入学式開催



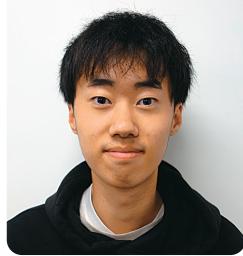
4月5日（水）、札幌文化芸術劇場「hitaru（ヒタル）」にて2023年度入学式を開催いたしました。当日は天候にも恵まれ、多くの方にご出席いただきました。

そのなかで、大学・短期大学部、大学院を含めた新入生975名が、緊張した面持ちで晴れの日を迎えました。聖書朗読や祈祷、本学聖歌隊による学歌や讃美歌を通して、本学への入学の喜びを深く感じる時となつたと思います。

また、大坊学長の式辞、古川理事長の祝辞、在学生代表による歓迎の言葉のほか、新入生代表からの誓いの言葉があり、希望を持って本学に入学した新入生の初々しい姿を見ることができました。

これから始まる北星学園大学・北星学園大学短期大学部での生活が有意義な実り多い時間となるようお祈りしています。

新入生からの言葉 大学生活にむけて



文学部 心理・応用コミュニケーション学科
あさくら 朝倉 はるき 晴輝さん

北星学園大学に入学してから約3週間が経ち、少しづつ大学での生活に慣れてきました。今年は新型コロナウイルスの状況が落ち着き始め、通常通りの学生生活に戻りつつあります。大学に入学してから授業の取り方やサークルのことなど、今までの学生生活とは違った環境になり、戸惑うことも多々ありました。先輩や先生方、また、同級生のアドバイスのおかげでなんとか乗り越えることができました。

私は、将来は教育関係の仕事に就きたいと考えています。そのため大学生活で教員免許を取得しようと考えています。そのための勉強は難しいものが多いですが、困難を一人で抱えるのではなく、同じ志しを持った仲間と助け合いながら、日々勉強をしていきたいと思います。また、大学では今まで以上に自己管理が大切になってくるため、計画性を持って過ごしていきたいです。

北星学園大学に入学してから、まだ日数は経っていませんが、この心理・応用コミュニケーション学科に入学してよかったですと実感しています。これから自分の興味のある分野について深く学んでいきたいと思います。この学科を薦めてくださった高校の先生、大学に進学させてくれた両親には感謝しかありません。これからもそのような感謝の心を忘れずに学生生活を送っていきたいと思います。



経済学部 経済学科
さいとう 齊藤 あかりさん

入学式を終え、数週間が経ちました。多くの新入生が目標に向け動き出した頃かと思います。

私がこの大学に入学した理由は、様々な可能性を見出すためです。私は、まだ大学卒業後の具体的な人生設計ができていません。元々は幼い頃から一つの夢を追い続けていましたが、転機が訪れ新しい道を探すこととなりました。それまで一つの夢を見続けていた私は、いつの間にか他の道を知らず置いて行かれそうになりました。そのため大学では、入学して間もないうちは敢えて決断をせず、様々な可能性を持ちながら人生の選択肢を広げていきたいと考えています。

また私は、大学生活の中で成長し人生設計が豊かなものになるかどうかは、固定概念をどれだけ捨てることが出来るか、だと考えています。人はそれぞれ、自身に対する固定概念を持っており、「これは出来ないから」と端から諦めてしまうことがあります。ある程度の見極めも必要ですが、私は与えられた可能性を最大限に活かし、常に進化し続ける存在でありたいと考えています。生涯に渡り成長し続けることが出来る人材になるため、大学生活において自分自身を常に見直し、努力し続けたいと思います。



社会福祉学部 社会福祉学科
まきの 牧野 ゆめ 優芽さん

新型コロナウイルス感染対策による様々な制約が緩和され、日常を取り戻しつつある今、私たちは無事に大学生になることができました。

大学は自分の自由に行動できることが増えますが、授業を受けるのにも受けたい科目や必要な科目を登録し、教科書や教室なども自分で調べなければならず、責任ある行動を取らなければなりません。私はスケジュール管理が苦手なので、時間や教室を間違えたり、課題を出し忘れないか不安ですが、こまめにポータルサイトを確認し、予定が決まったらすぐにスケジュール帳に書き込むことを習慣づけて、大学生活に早く慣れたいと思っています。自由度が上がるのは大変なこともありますが、服装や髪型を自分好みにできることや、空き時間にラウンジで勉強できることなど、大学生になった実感と開放感があります。何よりずっと学びたかった社会福祉学を学べることが嬉しく毎日ワクワクしています。

また、高校とは違い大学では一日の最初と最後の授業の時間が毎日異なるため、生活習慣が乱れやすいと思います。きちんと睡眠をとり90分授業も集中して受けられるよう頑張ります。



短期大学部 生活創造学科
いしがみ 石神 ももか 百花さん

入学式から怒涛の一週間が経ちました。学内では、マスクをはずしている人がちらほらと見られ、コロナウイルスが蔓延する前の生活に戻りつつあるように感じます。履修登録やサークル選び、授業形式などについてはまだ手探りである部分も多く、不安もあります。将来のために短大で何を学ぶのか選ぶのは自分ですが、高校や中学の時以上に先生方や友人たちとの関わりの中で教えられることが多く、大切だと気が付きました。

そのため、これからは自分一人ではどうしようもないことは周りの人協力してもらい、自分も周りの人を助けていけるような交友関係を積極的に築いていきたいと思っています。

そして、人の心を動かし豊かにするようなデザイナーを目指し、専門的な知識はもちろん、授業内でのプレゼンテーションによる発表能力や、先生方とのメール等の敬語の使い方など、社会に出る上で必要な力も身に着けていきたいです。2年間という短い時間ですが、振り返ったときに充実していたと思えるような学生生活にしていきます。

センター長	学科長	副学長
牧 西 内 栗	短期大学部生活創造学科長 川田 中直	中大 坊 和彦
田 原 山 林	短期大学部英文学科長 田中 耕一郎	村 和彦
浩 明 克	福祉臨床学科長 佐橋 克彦	大 原 邦夫
一 希 智 匡	心理学科長 佐藤 全彦	嘉彦
学生相談センター長	社会福祉学科長 伊藤 真一	嘉彦
国際教育センター長	経済法学科長 岩林 一秀	嘉彦
キャリアデザインセンター長	経済情報学科長 村川 美枝	嘉彦
入学試験センター長	心理学科長 勝石 充里	嘉彦

司書課長	情報システム課長	研究支援課長	就職支援課長	国際教育課長	学生生活支援課長	教育支援課	教育支援課	財務課長	人事課長	総務課長	企画広報課長	I-R内部質保証課長	大学事務部長	事務局次長	事務局長	教職課程センター長	広報委員長	心理臨床センター長	社会連携センター長	総合情報センター長	総合研究センター長	学習サポートセンター長	
鈴川 岩 遠 小前 幸	岩川 梅 越 今高 鈴	木 梅 越 今高 鈴	木 梅 越 今高 鈴	木 梅 越 今高 鈴	木 梅 越 今高 鈴	佐々木 桐山 佐々木	笠 越山 笠 越山	笠 越山 笠 越山	笠 越山 笠 越山	池 伊 鈴	池 伊 鈴	池 伊 鈴	池 伊 鈴	池 伊 鈴	池 伊 鈴	池 伊 鈴	池 伊 鈴						
木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	木 原 本 藤 塚 村 坂 島	
克 靖 俊 敬 善 城 太郎	哲 拓 真 康 峰	哲 拓 真 康 峰	哲 拓 真 康 峰	哲 拓 真 康 峰	哲 拓 真 康 峰	哲 拓 真 康 峰	英一																
知 彦 学 潤 賢 郎 德 孝	知 彦 学 潤 賢 郎 德 孝	知 彦 学 潤 賢 郎 德 孝	知 彦 学 潤 賢 郎 德 孝	知 彦 学 潤 賢 郎 德 孝	知 彦 学 潤 賢 郎 德 孝	薰 晃 弥 理 昭 章 子	薰 晃 弥 理 昭 章 子	薰 晃 弥 理 昭 章 子	薰 晃 弥 理 昭 章 子	薰 晃 弥 理 昭 章 子	薰 晃 弥 理 昭 章 子	雄 実 博	雄 実 博	雄 実 博	雄 実 博	雄 実 博	雄 実 博	雄 実 博	雄 実 博	雄 実 博	雄 実 博	雄 実 博	雄 実 博

全国大会報告

競技ダンス部

経済学部経済法学科 2023年3月卒業 星野 廉

2022年12月4日に東京都の有明アリーナで行われた第68回全日本学生競技ダンス選手権大会に、北海道ブロック代表として出場しました。11月に行われた予選大会では全種目で決勝に進出することができましたが、全国大会ではサンバに出場し二次予選敗退で15位という成績でした。本州は競技ダンス部のある大学が多く常に切磋琢磨して成長している選手が多くいるので、悔しい結果ではありますが、昨年よりも良い結果が残せたことや、そのような選手たちと戦えたことは良い経験となりました。

新型コロナウイルスの影響もあり、集まって合宿や練習をするということもなかなかできない環境が長く続いていましたが、規模の大きい大会やマスクなしでの大会が再開されるようになり、主力として活動していく後輩たちに良い姿を見せられたのではないかと思います。

このような大きな大会に出るという経験ができたことは、後援会や大学関係者の方々の応援があったからです。皆様への感謝を忘れずにこれからも努力していきたいと思いますので、競技ダンス部をよろしくお願いします。



全国大会会場 有明アリーナにて

ハンドボール部

文学部英文学科 木村 淑

2022年11月2日から愛知県で行われた、全日本学生ハンドボール選手権大会に北海道代表として出場しました。9月16日から19日に旭川市と鷹栖町で行われた秋季リーグ大会女子1部で2位となり、部の目標であった全国大会出場を果たすことができました。しかし、1回戦で福岡県の西南学院大学と対戦し、14対35で1回戦敗退となりました。

全国大会にたどり着くまで、新型コロナウイルスの影響で思うように練習ができず、大会に出場できなかった選手もいました。そのような状況でも秋季リーグで全国大会出場が決まってからは、北海道代表としてともに出場した札幌国際大学とチーム全体の底上げを図り、レベルアップした状態で全国大会に臨むことができました。また、全国レベルの試合を目で見て、肌で感じることができたことで、自分たちに何が足りないのかを考えるきっかけになり、よい影響を受け、実りのある大会になりました。

最後に大学関係者の方、後援会の皆様、いつも部活動を応援してくださり支えてくださってありがとうございます。今回の経験を活かしこれからも精進致しますので、引き続き応援よろしくお願い致します。



試合後の集合写真 スカイホール豊田にて

少林寺拳法部

社会福祉学部福祉臨床学科 山谷 元

11月19日から大阪府で行われた、2022年少林寺拳法全国大会 in OSAKAに男子大学生の部で出場してきました。7月28日に行われた第41回少林寺拳法大会全国大会予選では2位となり、全国大会出場の目標を達成しました。本番の全国大会では、予選敗退という結果に終わりましたが、結果以上に様々な経験ができ、自分たちの改善点を見つけることが出来ました。

全国大会に出場する拳士はそれぞれのレベルが高く、実際に見るととても迫力がありました。その中でも、本戦に出場した拳士たちは皆、突き、蹴り、投げにキレがあり、その中でも投げに重点を置いていることが分かりました。

私たちも自身の能力を伸ばし、改善に努め、次の大会に向けて修練を重ねたいと思います。そのうえで、後輩の育成に力を入れ、将来よりレベルの高い演武ができるようその環境を整えたいと思います。

昨年は新型コロナウイルスの影響で思い通りの練習ができないことが多くありました。しかし、その中でも練習の機会を与えてくださった顧問やコーチ、後援会の皆さんへの感謝を忘れずに活動を続けていきたいと思います。これからも、より良い結果を報告できるよう精進していきますので、応援の程よろしくお願いします。



2022年少林寺拳法全国大会in OSAKA会場にて

剣道部

経済学部経済学科 大久保 拓

2022年12月4日に宮城県多賀城市にて開催された、第56回全日本基督教関係大学剣道大会に出場しました。本学からは男女各2名が選抜され、計4名が個人戦に参加しました。結果は男子が2名とも二回戦までに敗退。女子1名は初戦敗退、もう1名は3位入賞という結果に終りました。強豪が集う全国大会において、個人戦での入賞は創部53年にして初めての快挙でした。代々続く部活の歴史を塗り替えたことや、大会の記録に本学の名前を残せたことは、部員一同、強く思い出に残る大会となりました。

コロナ禍における生活規制は日々撤廃されつつも、感染状況は依然一進一退を繰り返している中での大会参加は、不安を感じ、準備段階においても戸惑う場面が多々ありました。そのような中でも、顧問の先生や学生生活支援課の方々、大学後援会等、日頃から多くの支えがあったからこそ、実践において最大限の実力を発揮することができました。部を代表し、この場を借りて心から御礼申し上げます。

これからも日々精進してまいりますので、引き続き応援の程、よろしくお願いいたします。



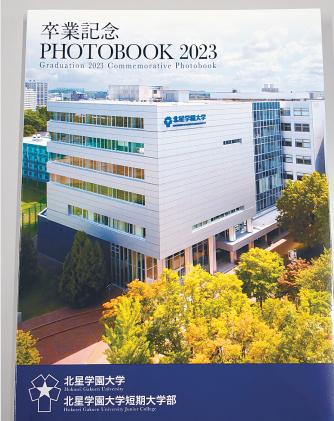
大会後の集合写真

後援会からのプレゼント

後援会では毎年、卒業生と新入生の皆さんに記念品を贈呈しております。2022年度卒業生には『卒業記念PHOTOBOOK』を贈りました。ゼミやクラス、サークル集合写真を中心に掲載し、卒業後も母校での思い出を振り返ることのできる1冊となっています。

また、2023年度新入生には『USBメモリー、多機能ボールペンジェットストリーム、クリアファイル』の3点を贈りました。いずれも本学の校章がデザインされたオリジナル製品です。大学生活の中でぜひご活用ください。

本学の校章は1991年に北星学園大学開学30周年を記念して作製されました。校章の中央の星は北星学園の象徴と教育の殿堂を示し、全体の形は「学花」であるライラックの花弁をシンボライズしたもので5つの花びらは本学の教育方針である、人間性・社会性・国際性・そして希望と発展を意味しています。



2023年3月卒業生への記念品



2023年度入学生への記念品

2023年度 大学行事予定

3月	31日(金) オリエンテーション(～4月8日)	1日(土) 第1回札幌地区父母懇談会	10月	7日(土) 大学祭(～9日)
4月	5日(水) 入学式 定期健康診断(5日・7日・8日)	28日(金) 前期授業終了	11月	4日(土) 第2回札幌地区父母懇談会
10日(月)	履修登録開始(～14日) 前期授業開始	31日(月) 前期定期試験(～8月8日)	12月	1日(金) 「後援会だより」第154号発行
2日(火)	学園創立記念日	10日(木) 『後援会だより』第153号発行	21日(木) クリスマス礼拝	
5月	17日(水) 後援会第1回役員会	26日(土) 北見地区父母懇談会	22日(金) 年内授業最終日	
27日(土)	後援会総会	27日(日) 旭川地区父母懇談会	17日(水) 後援会第2回役員会	
6月	1日(木) 『後援会だより』第152号発行	2日(土) 帯広地区父母懇談会	22日(月) 後期授業終了	
	3日(土) 体育祭	3日(日) 釧路地区父母懇談会	23日(火) 後期定期試験(～29日)	
		9日(土) 函館地区父母懇談会	1日(金) 卒業者名簿発表	
		10日(日) 苫小牧地区父母懇談会	14日(木) 卒業礼拝	
		18日(祝) 後期授業開始	卒業式	
		29日(金) 前期末卒業式	15日(金) 『後援会だより』第155号発行	

■ 学費等延納制度
万が一、家計の事情等で期限まで納入が困難な場合は、学費等延納制度により納入期限を延長することができます。財務課までご相談ください。

○高等教育の修学支援制度
(給付奨学金・授業料減免)
日本学生支援機構の給付奨学金に採用された場合、大学で所定の手続きをすることにより授業料等の減免も併せて受けることができます。給付奨学金の申し込みについては、学生生活支援課までお問い合わせください。

○障害者減免
○国の減免制度
(国の減免制度)
学部、大学院又は短期大学部の学生で身体障害者手帳もしくは精神障害者手帳をお持ちの場合は「教育充実費」の2分の1を免除いたします。財務課までお申し出ください。

○兄弟姉妹等同時在学者減免
兄弟・姉妹等で同時に2名以上が1年を通じて在学されている場合、新規の申請の場合は戸籍謄本の添付をお願いしております。継続時に於いては添付は不要です。財務課までお申し出ください。

【奨学金・減免制度】

【学費・諸納付金】


くび北星学園大学ホームページをご覧ください。
詳しい今年度のキャンパスガイド
48～50頁(学生への配付冊子)、及
び北星学園大学ホームページをご覧ください。

◆ご相談ください◆

2023年度 後援会地区別父母懇談会のお知らせ

今年度の地区別父母懇談会を下記の日程で開催いたします。学科教員との個別面談ではお子様の前年度までの修得単位数とその評価がわかる「成績通知票」をご用意し、面談いたします。また、ご父母向けの就職個別面談も実施いたします。

この地区別父母懇談会は北星学園大学後援会の事業の一環として、皆様からの会費により運営しております。毎年、参加されたご父母の皆様からは大変好評です。今年も多くのご参加をお待ちしております。

※7月1日(土) 札幌地区父母懇談会の申込締切(6月9日)が近づいております。参加ご希望の方はお忘れなくお申込み願います。

右記QRコードから申込フォームにアクセスしてください。



2022年9月11日開催 苫小牧会場の様子

日 に ち	開 催 地 区	会 場
7月 1日(土)	第1回札幌地区父母懇談会	北星学園大学 校舎
8月26日(土)	北見地区父母懇談会	ホテル黒部 北見市北7条西1丁目
8月27日(日)	旭川地区父母懇談会	アートホテル旭川 旭川市7条通6丁目
9月 2日(土)	帯広地区父母懇談会	ホテルグランテラス帯広 帯広市西1条南11-2
9月 3日(日)	釧路地区父母懇談会	釧路プリンスホテル 釧路市幸町7丁目1番地
		フォーポイントバイシェラトン函館 函館市若松町14番10号 (2023.6月より「プレミアホテル-CABIN PRESIDENT- 函館」に名称変更)
9月 9日(土)	函館地区父母懇談会	グランドホテルニュー王子 苫小牧市表町4丁目3-1
9月10日(日)	苫小牧地区父母懇談会	北星学園大学 校舎
11月 4日(土)	第2回札幌地区父母懇談会	

※お申込みされた方には、開催する週の初めにリマインドメールをお送りいたします。

※学生本人を同席させての三者面談は父母懇談会の趣旨から行っておりません。

※個別面談順は準備の都合上、当日お知らせいたします。なお面談の担当がゼミの担当教員とは限りませんのでご容赦ください。

※全地区とも受付は12:30～、開始13:00～となっています。

※当日、本学からささやかながらお土産を用意しております。

北星学園大学教育振興寄付金ご芳名 募金のご協力に深く感謝申しあげます。

2023年2月1日から2023年4月30日まで (敬称略・順不同)

高橋 実希 アニス 美和 古川 敬康 越田 実 匿名希望3名
前田 ケイ 矢口 美津子 中屋 晃 内山 智

※ご芳名の掲載は、本学へ入金された日で集計しております。

(インターネットからクレジット決済でご寄付をされた場合、通常1～2か月程度を要します。4月にクレジット決済にてご寄付いただいた方については、次号での掲載となります)

※寄付者様が法人の場合、寄付金の全額を損金として算入することが認められている受配者指定寄付金としてご寄付いただくことができます。

お申込みをご検討の場合は、募金事務局 (donation@hokusei.ac.jp) までご連絡ください。

後援会とは?

北星学園大学後援会は、在学生のご父母、卒業生のご父母及び同窓生を会員として構成されており、今年で設立39年目になります。

本会の目的は、北星学園大学・短期大学部における教育、研究活動の充実と発展に寄与することであり、「北星学園大学・短期大学部のサポーター」として活動を行っています。一例としては、図書館への図書等の寄贈、教員への学術出版補助、全国学会や学部・学科等で主催する事業への補助、国際交流経費補助などです。学生各種活動補助については、全国大会に出場する学生への補助や学生の就職活動支援、就職セミナー開催、大学祭への援助、奨学金補助、サークル活動で使う備品等の購入等を行っています。

また、ご父母向けに毎年地区別父母懇談会を道内7会場(札幌・函館・苫小牧・北見・旭川・帯広・釧路)で開催し、本学の教育方針やカリキュラムについての説明、学生の修学状況についての個別面談を行い、ご父母の皆様に本学について知っていただく良い機会となっています。

なお、『後援会だより』は年4回発行し、会員の皆様に大学の情報を届けしております。後援会に関するることは大学ホームページからもご覧いただけます。



あとがき

キャンパス内には、学花のライラックが咲き始め、初夏の訪れを感じる季節となりました。また、多くの学生が集うキャンパスは大変にぎやかで嬉しい限りです。学生1人1人のために後援会一同様々な形でサポートしていきたいと思います。 西藤・石山